

<東北地区納税貯蓄組合連合会長賞>

税金のありがたさ

喜多方市立高郷中学校

2年 あらい 荒井 ちなみ 知奈美

私たちのお父さんやお母さんは、何のために税金を納めているのでしょうか。私は、税金という言葉聞いたことがあっても、税金とは何のために納めるのか、その税金をどうするのかも中学生にはあまり関係のない言葉だと思い、気にもとめませんでした。

しかしある一言で、税金について少しだけ気付くことができました。たまたま私の友だちが、学校の机の上に落書きをしていました。そこを通りかかった先生がおっしゃいました。「これはおまえだけの机じゃないんだぞ、おまえのお父さんやお母さんが汗水流して働いて納めた税金で、もらった机とイスなんだから大切に使いよ、おまえたちが卒業した後も新しく入ってくる1年生が使うんだから。」とおっしゃいました。そこで私は、まず一つ目の使い道が分かりました。

その後、何ヶ月かがたち学校の授業で税金のことについて学びました。そこでは、税金の使い道についてDVDを見ました。この世界から税金がなくなったらどうなるのかを比較してみると、税金がなくなるとこわれた橋や道路、新しく建てたいものも建てることができなくて、住みにくい世界になってしまうんだなあと思いました。

私たちが不自由なく生活していくためには、税金がとても大事なんだなあと思いました。私が毎日学校で勉強したり、楽しく過ごしたりできるのは、机やイスがあつたり教科書があつたりするおかげだと思います。自分の住んでいるところが住み

やすいのは税金をお父さんやお母さん、日本中の人々が会社に毎日通って汗水流して働いて税金を納めてくれているおかげだと思うと、お父さんやお母さん、日本中の人たちに感謝しながら一日一日過ごして行きたいと思います。

大人になったら私も会社で毎日働いて税金も納めるので、日本の人が喜ぶように税金をいろいろと使い、今よりももっと人々が幸せに暮らせる社会にしたいです。それには、私のように税金のことを知らないと言っていないで、大人も子どもも広く知識を得ることが大切だと思います。インターネットや本で税金のことを調べて、使い道などの知識を身につければ、自然と「納めなければならない。」という気持ちにもなるし、税金によって私たちの社会は相互扶助の仕組みの上に成り立っているということが実感できるでしょう。

税金のことを知らなかった私は、今回いろいろなことを調べて、税金の大切さに気づきました。そしてその仕組みのすばらしさに感心し、納税の大切さを実感しました。今まで私の生活を支えてくれた様々なことに感謝し、いつか自分も次の世代を支えてあげられるように、一生懸命勉強して立派な大人になりたいと思います。